



## 間もなく1年の折り返し点です

先週末が夏至でした。梅雨の合間の日射しを受けて、学校周辺の緑が更に色濃くなってきました。教室から見える安神山をバックにした眺めは、市内の学校でもとびきりだと思っています。運動場でも児童が育てている植物が、すくすくと成長しています。アサガオ、トマトやキュウリなどの夏野菜、ホウセンカ、ヒマワリ、ヘチマ、ジャガイモ・・・朝登校するや否や一目散に畑へ向かい、水をやったり、脇芽を摘んだり、毎日お世話をしています。そして、日々の変化や発見を知らせてくれます。子どもたちは、生命を大切に作る心情はもちろんのこと、お世話の仕方を友だちと教え合ったり、せっかく大きくなった実をカラスにつつかれないよう考えたり、工夫しながら様々な力を身に付けているようです。子どもは本来人と自然との関わりの中で学ぶと言われますが、その通りだと思います。



先週末からは、本校の「すすんで学ぶ子」の育成する活動の一つでもある、「家庭学習チャレンジ週間」が始まりました。これは、家庭で話合っそれぞれの子に合った目当てを決め、1週間目当てを達成できるよう、ご家族の協力もいただきながらがんばろうというものです。取り組みを通じて、家庭学習習慣の定着や、変化の激しいこれからの社会に適応する力として重視されている、「必要なことを自分で考え、行動する力」を伸ばしていきたいと考えています。児童のがんばりには学校でも賞揚するとともに、家庭学習便りでの紹介を考えています。ご家庭でもご協力と激励をお願いします。



運動会



個別学習会



水泳授業

6月も下旬となり、2024年の折り返し点がすぐそこです。今年の年始に考えた目標や抱負は、どれくらい達成できているだろう、と考えたりします。「凡事徹底」という言葉がありますが、当たり前のことを徹底して行うということです。そして、当たり前のことを徹底して極めれば、誰にも負けない力を得ることができるという意味もあるそうです。では、当たり前のこととはどんなことでしょうか。それは、学習や掃除、挨拶等、自分や他人のためにした方がよいことです。自分に力がつくことであったり、他人が喜んだりすることとも言えます。とは言え、続けることはなかなか大変です。ちょっと頑張ればできる当たり前のことを徹底して行う。そうすれば、子どもたちが、将来生きていくために必要な力を身に付けることができるのではないのでしょうか。

